

独立行政法人農業者年金コンプライアンス委員会の開催結果について

平成 22年 6月 24日

独立行政法人農業者年金基金

6月24日に開催の独立行政法人農業者年金基金コンプライアンス委員会で審議された事案及び講じた措置について、次のとおりお知らせします。

- 1 平成22年度コンプライアンス推進計画の具体的な取組
平成22年度コンプライアンス推進計画の具体的な取組について、資料1に基づき実施されることが了承された。
- 2 農業者年金基金委託業務の適正な執行について
農業者年金基金委託業務の適正な執行について、資料2のとおり報告が行われた。

「平成22年度コンプライアンス推進計画」の具体的な取組について

* [] 内は「平成22年度独立行政法人農業者年金基金コンプライアンス推進計画」

独立行政法人農業者年金基金（以下、「基金」という。）におけるコンプライアンスのより一層の推進を図るため、平成22年度については、以下の取組を行うものとする。

○ 各室部におけるコンプライアンス推進の取組

1 各室部におけるコンプライアンス推進の取組

各室部業務におけるコンプライアンスに対する職員の意識向上を図るため、管理職は、職員との業務打ち合わせ等の際に、コンプライアンスの重要性についての啓発を図ることとする。

管理職は、様々な場面において職員に対するコンプライアンスの啓発を図るための取組みを行う。また、更なる適正な業務執行の確保観点から、マニュアルの整備等を通じ諸法令等に沿った業務方法の点検を行う。

○ コンプライアンス推進計画の項目に基づく研修の実施

2 コンプライアンス推進に関する全体研修会の実施

コンプライアンスや個人情報保護に関する理解と認識を深めるため、外部講師等による研修会を開催する。

役職員におけるコンプライアンスの基本認識を一層深める必要があることから、今年度においては、「コンプライアンスの基礎知識、並びに具体的事例によるコンプライアンスの解説」をテーマとして研修を実施することとする。

3 新任者コンプライアンス研修の実施

基金におけるコンプライアンス遵守事項等を集約したコンプライアンスハンドブックに基づく研修を、基金採用者に対して速やかに実施する。

新任採用職員を対象とした研修を毎年4月並びに10月に実施しているところであり、今年度も引き続き実施する。

4 情報セキュリティ対策の充実

基金におけるコンプライアンス確保において重要性が高い情報セキュリティ水準の向上を図る観点から、関係規定の見直し、研修を実施する。

従来から外部講師（CIO補佐官）による役職員全員を対象とした情報セキュリティ研修を年1回実施しているところであり、今年度も引き続き実施する。

○ 内部監査を通じたコンプライアンス推進

5 内部監査の実施

内部監査の実施に当たっては、業務運営におけるコンプライアンスの推進の視点を加え監査を実施する。

平成21年度に「独立行政法人農業者年金基金における内部監査の実施について」にコンプライアンスの推進の項目を加え、内部監査を実施したところであり、今年度も引き続き実施する。

○ 適切な情報提供等

6 コンプライアンスに関する情報の提供

コンプライアンスに対する理解を深めるため、コンプライアンスに関する事例、倫理規程等を役職員が閲覧可能なフォーラムに掲載するなど関連情報の提供を積極的に行う。

役職員に対して「各種研修資料」、「コンプライアンスハンドブック」、「出張時における役職員の倫理に係る留意事項について」などについて、フォーラムに掲載して関連情報の提供を行う。

7 コンプライアンスに関する情報の公開

基金のコンプライアンスに関する情報公開を進めるため、コンプライアンスに係る推進計画、コンプライアンスの推進のために講じた措置についてホームページで公表する。

平成22年度の推進計画については、平成22年3月19日（金）の第9回コンプライアンス委員会を経てホームページに掲載済みである。

コンプライアンスの推進の取組状況については、委員会開催の都度速やかにホームページに掲載する。

平成22年度独立行政法人農業者年金基金コンプライアンス推進計画

平成22年3月19日

独立行政法人農業者年金基金（以下、「基金」という。）におけるコンプライアンスのより一層の推進を図るため、平成22年度については、以下の取組を行うものとする。

1 各室部におけるコンプライアンス推進の取組

各室部業務におけるコンプライアンスに対する職員の意識向上を図るため、管理職は、職員との業務打ち合わせ等の際に、コンプライアンスの重要性についての啓発を図ることとする。

2 コンプライアンス推進に関する全体研修会の実施

コンプライアンスや個人情報保護に関する理解と認識を深めるため、外部講師等による研修会を開催する。

3 新任者コンプライアンス研修の実施

基金におけるコンプライアンス遵守事項等を集約したコンプライアンスハンドブックに基づく研修を、基金採用者に対して速やかに実施する。

4 情報セキュリティ対策の充実

基金におけるコンプライアンス確保において重要性が高い情報セキュリティ水準の向上を図る観点から、関係規定の見直し、研修を実施する。

5 内部監査の実施

内部監査の実施に当たっては、業務運営におけるコンプライアンスの推進の視点を加え監査を実施する。

6 コンプライアンスに関する情報の提供

コンプライアンスに対する理解を深めるため、コンプライアンスに関する事例、倫理規程等を役職員が閲覧可能なフォーラムに掲載するなど関連情報の提供を積極的に行う。

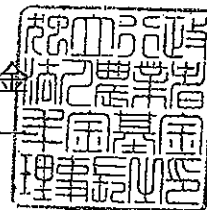
7 コンプライアンスに関する情報の公開

基金のコンプライアンスに関する情報公開を進めるため、コンプライアンスに係る推進計画、コンプライアンスの推進のために講じた措置についてホームページで公表する。

22 独農年業第 29 号

平成 22 年 4 月 26 日

各農業協同組合長 様

独立行政法人農業者年金基金
理事長 伊藤 健

農業者年金基金委託業務の適正な執行について

平素より農業者年金業務の運営につきまして、多大なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当基金の業務受託機関である農業協同組合におきまして、当基金の被保険者から届出のあった特例脱退一時金請求書を受付していたにもかかわらず、当基金への提出が後年になったという処理遅延の事案が発生いたしました。

本件は、被保険者本人が複数回にわたり特例脱退一時金の受給の意思を示していたにもかかわらず、農業協同組合と被保険者との間に農業者年金以外の個別事案を有していたことを理由に必要な手続きを実施しなかったことにより発生したもので、国民の農業者年金制度に対する信頼を失墜しかねない重大な過誤であり、誠に遺憾であります。

貴組合におかれましては、本件の事案を踏まえ、当基金委託業務を農業協同組合業務と混同することなく、適正かつ円滑に実施していただきますようお願い申し上げます。

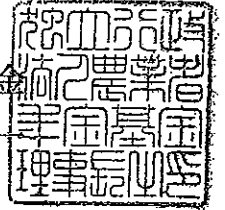
なお、今後同様な事案が発生した場合については、原因究明のため事実確認について現地調査等を実施し、その結果について主務大臣へ報告を行うことも有り得ますこと予めご承知願います。

22独農年業第29号

平成22年4月26日

各都道府県農業協同組合中央会会長 様

独立行政法人農業者年金基金
理事長 伊藤 健



農業者年金基金委託業務の適正な執行について

平素より農業者年金業務の運営につきまして、多大なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当基金の業務受託機関である農業協同組合におきまして、当基金の被保険者から届出のあった特例脱退一時金請求書を受付していたにもかかわらず、当基金への提出が後年になったという処理遅延の事案が発生いたしました。

このような事案の再発を防止する観点から、貴管下農業協同組合に対し、別添のとおり通知いたしましたので御了知いただくとともにその趣旨をご理解いただき、貴管下農業協同組合に対する特段のご指導をお願いいたします。